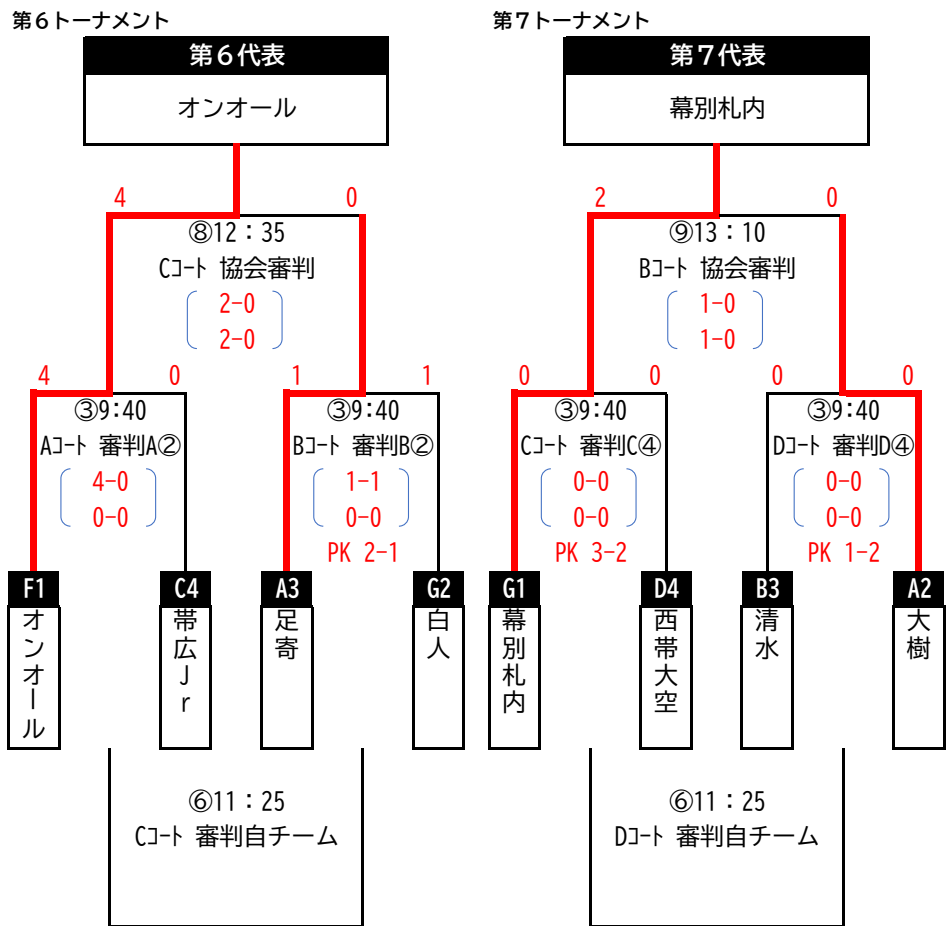
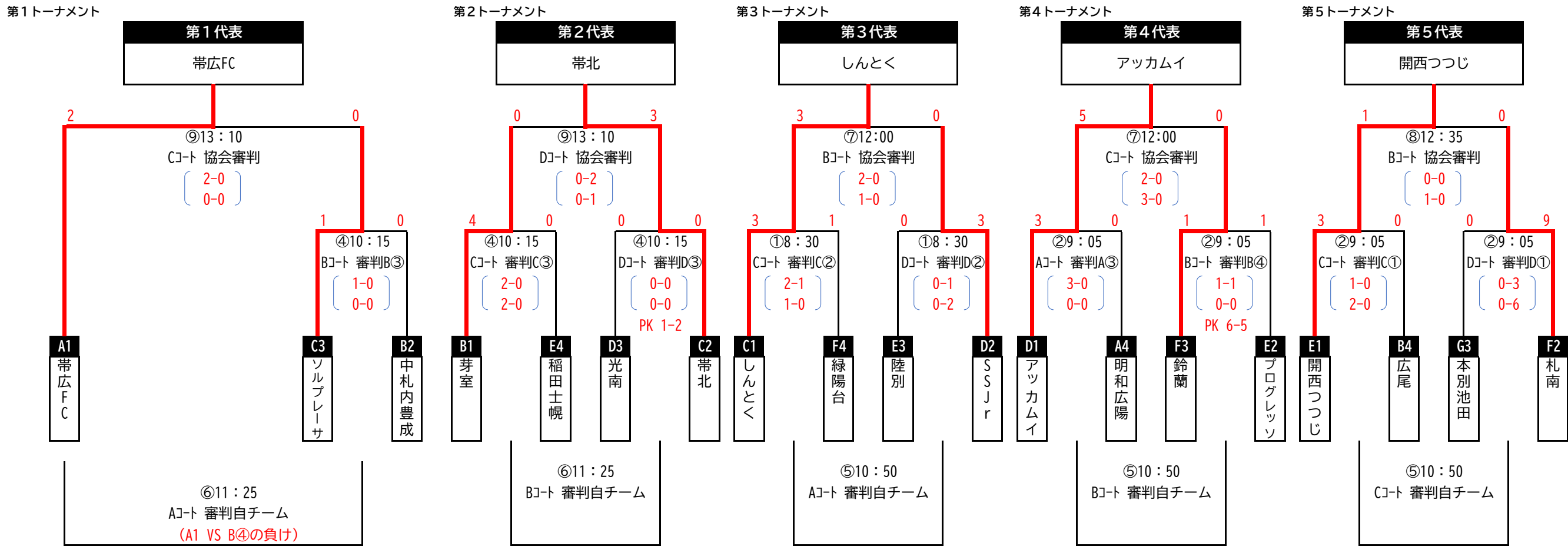




試合時間	全試合	12分-3分-12分
------	-----	------------

競技規則	懲罰
本年度日本サッカー協会8人制サッカー競技規則による。	①本大会において退場させられた者は次の1試合に出場できずそれ以降の処置については本大会の規律フェアプレー委員会で決定する。
競技方法	②本大会期間中警告を2度受けた者は次の1試合に出場できない。
①予選ラウンドは勝ち点（勝3分け1負け0）得失点差、総得点、当該チームの戦績、抽選の順で順位を決定する。決勝トーナメントにおいて、同点の場合はPK方式にて次回進出チームを決定する。ただし、決勝戦においては、前後半各3分の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により勝利チームを決定する。	③競技者が退場を命ぜられた場合はその競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充できる。主審は競技者が補充されようとしている間は試合を停止する。
②登録できる交代要員の数は8名（例外規定あり）とし交代して退いた選手は再び交代要員として出場できる。交代の回数は制限されない。	④本大会の予選は懲罰規定上の同一の競技会とみなし、予選終了時で退場、退席による未消化の出場停止処分は本大会において消化する。
ゴールキーパーは事前に主審に通知した上で試合の停止中に交代することができる。	⑤本大会規定、本記載事項にない事例に関しては、本大会規律フェアプレー委員会において決定する。
③ベンチ入りできる人数は役員原則2名以上4名以下、交代要員8名（例外規定あり）以内とする。	その他
④指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。	①各チームの登録選手は、（公財）日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により顔の認識ができる選手証または登録選手一覧を印刷したものに限る。
⑤ベンチはブロック若番（進行表左側のチーム）が左側に位置すること。	②ベンチ入りする指導者のうち有資格者（D級コーチ以上）はチームの選手証確認の際に本部でJFA公認指導者ライセンス証を提示し確認を受けること。
⑥その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。	JFA公認指導者ライセンス証についてはスマートフォンなどの画面での提示を認める。
⑦監督またはベンチ役員が判定に対して異議を示し、主審から注意を受けた後に、再度異議を示した時は、主審の判断により退席処分とする。	③大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。
審判	④大会参加にあたっては指導者、後援会を問わずプレイヤーズファーストの理念の基に「大会参加にあたっての注意事項」を遵守しなければならない。
①各チームは3級以上の公認審判員1名と4級以上の公認審判員1名を帯同すること。	⑤観客席は選手席のコースを挟んだ向かい側に限定する。
②3級以上の審判員を帯同できない場合は4級1名を帯同し、不帯同審判料を大会本部へ納入すること。	⑥父母席（観客席）からの過剰な応援、サイドコーチング等の指示を禁止する（退席処分の対象）。
③予選は主審のみ指名、決勝トーナメントは4名全員指名、決勝戦は協会が審判業務を行う。	⑦閉会式において決勝トーナメント各1位（代表7チーム）を表彰する。
④指導者と審判員を兼ねる場合は審判業務を優先しなければならない。	